



DNW-23017 の概要

課題名： 下肢閉塞性動脈疾患に対する血管新生治療薬の検証

主任研究者 (Principal Investigator)：

外山 研介 (国立大学法人愛媛大学大学院医学系研究科)

ステージ： 標的検証前期

【標的疾患】

重症の下肢閉塞性動脈疾患

【創薬標的】

miRNA-X

【創薬コンセプト】

miRNA-X に対するアンチセンス核酸を用いて、病変部局所で減少している DNA 複製に関わる分子群のタンパク質を増やし、血管内皮細胞の複製・分裂の効率性を高めることで血流を改善させる。

【モダリティの設定】

核酸

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) miRNA-X が、ヒト血管内皮細胞増殖時の DNA 複製に関わる分子群を負に制御していることを見出した。
- 2) 重度の跛行を有する下肢閉塞性動脈疾患患者では、健常者と比べて末梢血エクソソーム中 miRNA-X の発現が高い。

【支援ステージにおける目標】

ヒト病態重症度と末梢血エクソソーム中の **miRNA-X** 発現値との相関関係、及び下肢虚血モデルマウスにおける **miRNA-X** のアンチ鎖の治療効果の検証を行う。

【関連特許】

特許出願済

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。